取扱説明書 ― 高調波ガイドライン適合品 ― 保管用

蛍光灯シーリング

（一般屋内専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

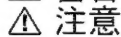
この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品　　名	適合ランプ	適合電線	定格電圧/周波数
LF-3954	蛍光ランプ FHF24W×1	VVFケーブル φ1.6・φ2.0	AC100V(±6%) 50Hz/60Hz
LF-3955	蛍光ランプ FHF54W×1		
LF-3956	蛍光ランプ FHF24W×1		
LF-3957	蛍光ランプ FHF54W×1		
LF-3958	蛍光ランプ FHF24W×1		
LF-3959	蛍光ランプ FHF54W×1		

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書の中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書の中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークの説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付けられます

配線器具を取りはずします

角形引掛けシーリングボディー
丸形引掛けシーリングボディー
引掛け埋込ローゼット

施工上の注意

⚠ 警告

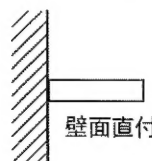
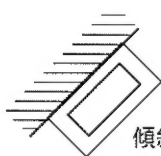
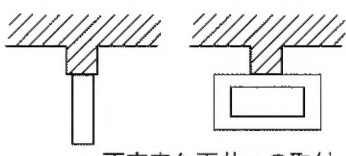
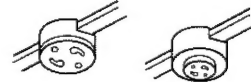
❗ ボルト吊りまたは木ネジ取付器具です。
★器具の落下による器具その他の破損やケガの原因となります。

⃠ 器具にぶら下がったり、タオル等をかけないでください。
★感電・火災・落下による物損の原因になります。

❗ 端子に差し込むケーブルは必ずＶＶＦφ1.6またはφ2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 一般屋内用器具です。屋外や浴室などの湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ 次のような場所には取付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。

壁面直付
傾斜天井取付
不安定な天井への取付
レースウェイにセットされている配線器具

○補強材の無い場所への取り付け　○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）

⚠ 注意

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、蓄電池の破裂や火災の原因となることがあります。

❗ この器具は周囲温度５℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や火災の原因となります。

⚠ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や、調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

⚠ 警告

必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠ 注意

温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
★雑音や誤動作の原因となります。

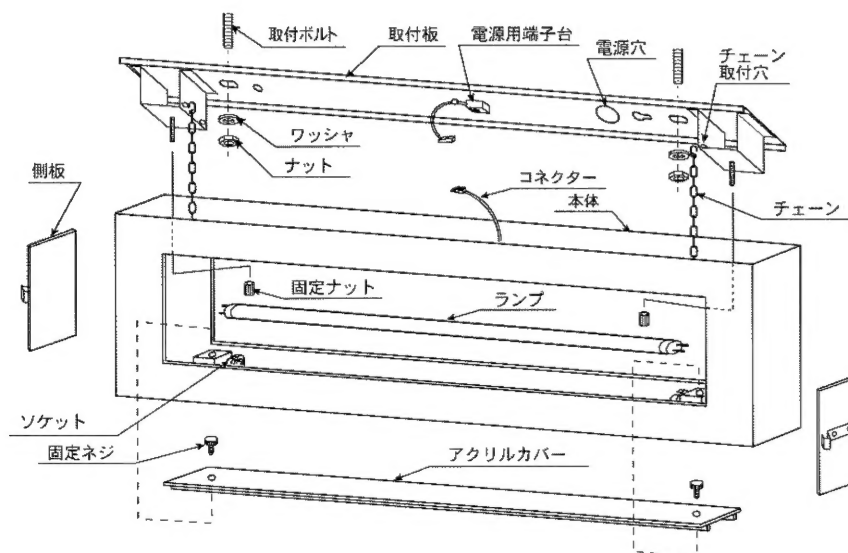
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

点灯中や消灯直後の電球、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、販売元または山田照明サービス窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】

取付ボルト
取付板
電源用端子台
電源穴
チェーン取付穴
ワッシャ
ナット
側板
コネクター
本体
チェーン
固定ナット
ランプ
ソケット
固定ネジ
アクリルカバー

【付属品】

ランプ・・・・・・・・・・・・・・・1本
LF-3954,3956,3958 FHF24W昼白色
LF-3955,3957,3959 FHF54W昼白色

座付木ネジ
LF-3954,3956,3958・・2本
LF-3955,3957,3959・・4本

側　板・・・・・・・・・・・・・・・2枚

取扱説明書(本書)・・・・・1枚

保障と
アフターサービスについて・・1枚

取り付け場所の確認

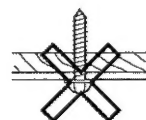
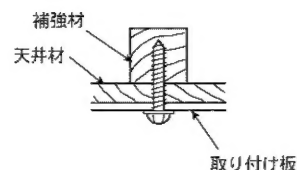
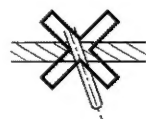
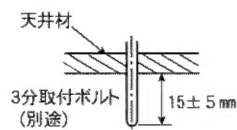
⚠ 注意

器具の取付は、重量の耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

３分取付ボルト(別途)は垂直に出し、天井面からのボルト先端(15±５㎜)を注意してください。

⚠ 警告

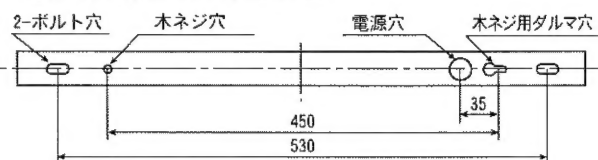
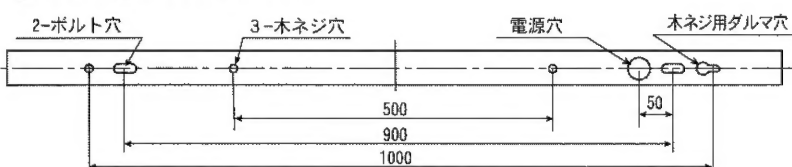
器具を木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。
★ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。

建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがまれにあります。その様な場合には、器具取付場所の構造を確認上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

取り付け方 ⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 注意 ❗ 器具の取付は、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

❗ 端子に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ LF-3958、LF-3959は取付方向に指定があります。取付板の表示に従って器具を取り付けてください。

●LF3954, LF3956, LF3958　　●LF3955, LF3957, LF3959

●器具を取り付ける前に
①化粧ビスを外して、アクリルカバーを本体から外します。
②固定ナット(左右２本)を外して反対から取り付け板をはずします。

1．取付板を取り付けます。
①電源線を本体の電源穴に通します。
②取付板を木ネジもしくはボルトで固定します。
ネジ取付の場合：
取付板を木ネジで確実に取り付けます。
ボルト取付の場合：
本体をあらかじめセットしておいた取付ボルト(別途施工)に確実に取り付けます。

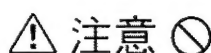
2．本体を仮吊りします。
本体両端の仮吊チェーンを取付板のチェーン取付穴に引っかけて、先端を工具で閉じてください。

3．電源線を接続します。
①電源線(別途)を電源用端子台のゲージ(12mm)にあわせ剥きます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、幅６mmのマイナスドライバーの先をはずし穴に差し込んで抜いてください。
③取付板のコネクターと本体のコネクターを接続します。

取付板のコネクター　本体のコネクター
差し込む

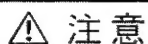
4．本体を取り付け板に取り付けます。
本体を取り付け板にかぶせて固定ナット(２本)で固定します。

5．側板をはめ込みます。
側板を本体にはめこみます。
※側板は上部にスキマがないようにセットしてください。
※側板をはずす場合は、アクリルカバーをはずし、側板の下に指をかけてはずします。

6．ランプをセットします。
①蛍光灯のピンをソケットの溝に沿って奥まで確実に挿入します。
②ランプを90°回転させます。(カチッと音がするまで回します。)

⚠ 注意 ⊘ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

7．アクリルカバーを固定ネジで取り付けます。
①アクリルカバーを本体に差し込みます。
②アクリルカバーをスライドさせて、本体側の固定穴とアクリルカバーの固定穴を合わせます。
③固定ネジでアクリルカバーを固定します。

スイッチ操作

壁スイッチ(別途施工)にて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を　：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう、暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：ランプの端部が黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

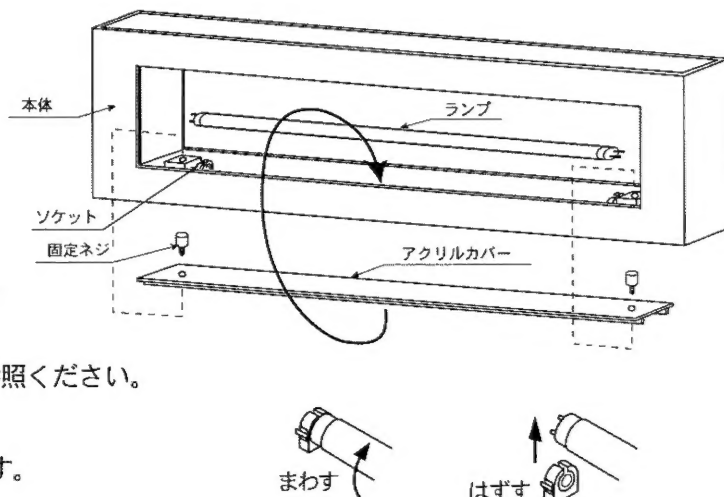
●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

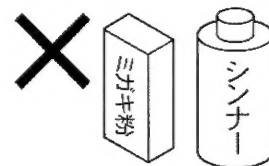
●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください
★不適切なランプを使用すると異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

1. スイッチを切ります。

2. アクリルカバーをはずします。
固定ネジをはずして、アクリルカバーをはずします。
3. ランプを交換します。
ランプを90度回しソケットからランプをはずします。
4. ランプをセットします。
『取り付け方』の「6.ランプのセット」の項をご参照ください。
5. アクリルカバーを取り付けます。
2.の逆に、固定ネジでアクリルカバーを取り付けます。

◆お手入れのしかた

1.スイッチを切ります。
2.柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3.汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4.最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。

✕ ミガキ粉　シンナー

■こんな時には

ご使用の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

症状	確認事項
スイッチを入れても点灯しない。	ランプは確実にセットされていますか。 ランプが切れていませんか。新しいランプと交換してみてください。
ランプがすぐ切れてしまう。	天井内の断熱材・遮音材は器具から離して設置されていますか。 （この器具は断熱材・遮音材で覆っての使用はできません。）
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を充分拭き取ります。

★該当項目をチェックしても、症状が改善されない場合には、販売元までお問い合わせください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明営業所にご相談ください。